



<10月号>

朝三中だより

<目指す学校像> 一人一人が輝き 感動と笑顔あふれる学校

朝霞市立朝霞第三中学校
令和2年10月1日発行

〒351-0023

朝霞市溝沼 1043-1
TEL048(464)7575
FAX048(460)2280

自分への賞状

校長 杉山 巖

10月になり、1年間の折り返しの時期となりました。今年は始まりが6月でしたが、夏休みを短縮し、新型コロナウイルス対策を施しながら授業などの教育活動を行ってきた結果、ほぼ折り返せる状況になったかなと感じています。様々な行事については、中止や縮小、延期、あるいは代替の行事を考えながら進めてきましたが、新型コロナウイルスの感染状況にもよりますが、見通しが持てるようになってきたかと思うところです。

その中で10月3日（陸上部は9月29日）から、運動部の**新人体育大会**が始まります。新型コロナウイルスの感染状況を注視しながら、新人体育大会は実施予定です。5月に予定されていた学校総合体育大会は残念ながら中止となりましたが、その後、感染リスクを低減させるために、どのような対策を立てれば良いのか、『3密』にならないようにするには、どうすれば良いのか、方策がまとめられ、それが示されました。

具体的には、先日1、2年生のご家庭に配付した確認事項にあるように、「2週間前から健康観察を確実に実施し、選手を健康に配慮しながら出場させる」ことにしたり、「原則として参加生徒を登録選手と運営上必要な生徒のみ」としたり、「保護者・その他の応援は無しの無観客試合とする」などして、実施していくこととなりました。部員全員が大会会場に行くことができない部もあったり、保護者も応援ができなかったりと残念ですが、大会自体がなくなった学校総合体育大会と比べると前進です。

今年度後半の残された行事についても、新型コロナウイルス感染拡大防止のための対策を取りながら、形式は変わるかもしれないですが、なんとか実施できるよう知恵を絞っていきたいと考えています。

さて、壮行会の時に少しお話ししましたが、新人体育大会が終わると、**朝会で表彰**の機会を持ちます。是非、多くの部に賞状を渡したいと思っています。

賞状は1位2位などの上位入賞者にしか出ませんが、たとえ**朝会での表彰**とならなくても、**自分自身には心の中で賞状を渡せるように1番の活躍**をしてください。目標に向かって費やした努力や、共に練習してきた仲間との絆は、かけがえのないものであるはずです。そして、選手として試合に出ても、ベンチやサイドラインにいたとしても、あるいは学校で結果を待つ状況となっても、その時その時、**置かれた状況の中で最高のパフォーマンスを出す**ことができれば、上位入賞とはならなくても、**自分に心の中で、賞状を渡せる**のではないのでしょうか。与えられた状況の中で自分に対して褒めてあげられる、そんな大会にしてくれたらうれしい限りです。

1、2年生だけでなく、3年生にしても授業や、委員会活動、係活動でも自分自身への賞状を追い求めてください。

部活動に限らず、**どんな勝負も最後までわからない**ものです。試合終了のホイッスルが鳴るまで**粘り強く頑張る**よう、祈っています。